

令和6年度

警察本部運営プログラム

令和6年8月
警察本部

令和6年度 警察本部施策体系

I 第4次山形県総合発展計画の推進

【 】：第4次山形県総合発展計画実施計画の施策番号

1 県民が安全・安心を実感し、総活躍できる社会づくり【4】

- (1) 暮らしの様々なリスクへの対応能力の強化【4-2】
 - ① 様々な犯罪の予防と消費者保護の推進
 - ② 交通事故防止のための取組みの強化

2 未来に向けた発展基盤となる県土の整備・活用【5】

- (2) 暮らしや産業の発展基盤となるICTなど未来技術の早期実装【5-1】
 - ③ 誰もが安全にICTを利活用できる環境づくり

令和6年度 警察本部 主要事業

I 第4次山形県総合発展計画の推進

1 県民が安全・安心を実感し、総活躍できる社会づくり【4】

(1) 暮らしの様々なリスクへの対応力の強化【4-2】



目標指標	刑法犯認知件数
	基準値（令和元年）：3, 275件
	直近値（令和5年）：2, 980件 目標値（令和6年）：3, 275件未満

施策の推進方向と主な取組み

① 様々な犯罪の予防と消費者保護の推進

K P I	重要犯罪検挙率					
	基準値（平成22年～令和元年平均）：85%					
		R 2	R 3	R 4	R 5	R 6
	指標値	85%	85%	85%	85%	85%
	実績値	103.2%	97.2%	65.6%	86.0%	

【令和6年度における課題と対応】

<地域における防犯対策の促進>

(課題)

- ・ コロナ禍後の人の移動の活性化による犯罪発生のお機会の増加、匿名・流動型犯罪グループをはじめとする犯罪組織等による様々な犯行の増加のほか、デジタル通信の高度化、サイバー環境の進展を背景とした匿名性の高い犯行形態が増加するなど、組織犯罪等の巧妙化・潜在化が治安上の課題となっている。
- ・ 令和5年における特殊詐欺被害の認知件数は、前年比同数となっているものの、新たな類型の詐欺であるSNS型投資・ロマンス詐欺の被害が急増し、被害額は4億円超となった。

(対応)

- ・ 重要犯罪等の検挙、総合的な犯罪組織対策及び捜査力の強化
 - ⇒ 各種犯罪に対する迅速かつ徹底した捜査による被疑者の検挙
 - ⇒ 警察各部門が連携した合議体「Σ（シグマ）」による総合的な犯罪組織対策の展開
 - ⇒ 捜査支援資機材の整備、DXの推進、各種教養・訓練等による捜査力の強化
- ・ 絶え間ない社会情勢の変化に対応した防犯活動等の推進
 - ⇒ 犯罪情勢の的確な分析結果に基づく効果的な防犯対策及び職務質問等の効果的な街頭活動による犯罪抑止活動の推進
 - ⇒ 「やまがた110ネットワーク」等を活用したタイムリーな情報発信、巡回連絡等あらゆる警察活動に際したきめ細やかな防犯指導による「県民が自ら安全を守るための対策」の推進

- ⇒防犯ＣＳＲ活動、青色防犯パトロール、防犯カメラの設置、防犯教室の開催等、地域社会との協働による児童・生徒等の安全確保対策の推進
- ⇒警察安全相談への迅速・確実な対応
- ⇒警察等による街頭防犯カメラの設置及び自治体に対する設置に向けた働きかけ
- ・官民一体による特殊詐欺被害防止対策
 - ⇒被害実態の分析に基づく防犯指導、広報啓発活動の推進
 - ⇒迷惑電話防止機能付き固定電話機の普及促進、高齢者関係団体等と連携したアポ電対応訓練の実施、非通知番号からの着信を拒否する携帯電話対策の設定促進、オートコールシステム等を活用した特殊詐欺被害の水際阻止対策の推進
 - ⇒高齢者のＡＴＭ出金限度額制限、コンビニエンスストアにおける声掛け訓練等を通じた金融機関、コンビニエンスストア等と連携した対策の推進
 - ⇒口座凍結、犯行使用電話の利用制限措置等による徹底した犯行ツール対策

<児童・高齢者・障がい者等の虐待対策や犯罪被害者対策の推進>

(課題)

- ・人身安全関連事案は、事態が急展開して重大事件に発展するおそれが高いことから、被害者等の安全確保を最優先とし、認知の段階から事案の危険性や切迫性を的確に見極め、関係機関と連携強化を図り、組織的な対応を徹底する必要がある。
- ・関係機関との連携による早期発見・対応、被害者等の安全確保、子供の緊急避難場所の確保、被害防止のための資機材の確保などの措置を講じる必要がある。

(対応)

- ・県民の生命と身体の安全確保を最優先にした人身安全関連事案への的確な対応
 - ⇒ストーカー・DV事案等に対する危険性・切迫性の的確な見極めと迅速な対応
 - ⇒関係機関との連携による児童虐待事案等の早期発見と被害者の安全確保
 - ⇒行方不明事案への迅速かつ的確な対応
 - ⇒こども110番連絡所の設置
 - ⇒ストーカー被害者等のための緊急通報装置貸出し及び一時避難場所の確保
- ・犯罪被害者支援の推進
 - ⇒市町村、その他の関係機関・団体等連携による犯罪被害者支援の更なる促進

<サイバー犯罪の抑止のための対策の推進>

(課題)

- ・国民が広く利用する公共空間へと変貌したサイバー空間では、新たな技術を悪用する犯罪が続々と発生し、手口も匿名化、巧妙化するなど、サイバー空間の脅威は深刻化している。
- ・本県におけるサイバー犯罪の検挙件数及びサイバー犯罪等に関する相談件数は増加傾向にある。

(対応)

- ・サイバー事案への的確な対応に向けた捜査・支援の推進
 - ⇒サイバー事案への的確な対応に向け、国際捜査も見据えた警察庁サイバー特別捜査部や他県警察等との連携捜査
 - ⇒サイバー犯罪対策課と山形県情報通信部の一体的運用の拠点である「山形県警察サイバーセンター」による捜査支援及び検挙
- ・サイバーパトロール等による違法・有害情報対策の推進
 - ⇒大学生等サイバーパトローラー等と協働したサイバーパトロール等による違法・有害情報の把握・削除、フィッシングサイト、詐欺サイト等の閲覧制限・削除等の対策の推進
- ・サイバー犯罪被害の潜在化の防止
 - ⇒県民や事業者に積極的な通報や相談を促すことによるサイバー犯罪被害の潜在化の防止、通報・相談受理時の迅速な捜査活動
 - ⇒県民や事業者への注意喚起など迅速的確な対応の徹底、官民連携の拡充等による被害拡大防止

<ul style="list-style-type: none"> ・ 捜査用資機材の高度化と充実強化 ⇒押収した証拠品からの迅速なデータ抽出と正確な分析に資する捜査用資機材の高度化と充実強化 ・ 更なる組織基盤の強化 ⇒公共空間へと変貌したサイバー空間の脅威に対処するための組織基盤の強化
--

【令和6年度関連事務事業】

(単位：千円)

事業名	予算額 (前年度)	区分	事業概要	関連する SDGsの ゴール
防犯活動推進事業費	10,274 (12,311)	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 継続	<ul style="list-style-type: none"> ・ 特殊詐欺被害の水際阻止対策強化のためのオートコールシステムの導入【新規】 ・ 「やまがた110ネットワーク」を活用した情報発信 ・ 街頭防犯カメラの増設【拡充】 	16
子ども・女性安全対策推進事業費	597 (608)	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 継続	<ul style="list-style-type: none"> ・ こども110番連絡所の設置 ・ ストーカー被害者等のための緊急通報装置貸出し及び一時避難場所確保 	16
サイバー犯罪対策事業費	11,765 (6,727)	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 継続	<ul style="list-style-type: none"> ・ サイバー犯罪捜査官の捜査能力向上【拡充】 ・ 捜査用資機材の整備【拡充】 	16
捜査活動用資機材整備費	77,508 (76,974)	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 継続	<ul style="list-style-type: none"> ・ 捜査用資機材の整備 	16
刑事警察行政活動費(録音・録画装置の整備)	3,846 (16,456)	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 継続	<ul style="list-style-type: none"> ・ 取調べの録音・録画装置の更新 	16
警察施設長寿命化推進事業費	546,639 (128,107)	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 継続	<ul style="list-style-type: none"> ・ 警察署庁舎等に係る長寿命化対策及び浸水対策 ・ 警察本部庁舎等へのLED照明の導入【新規】 	11
交番・駐在所整備事業費	163,211 (153,491)	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 継続	<ul style="list-style-type: none"> ・ 酒田警察署本町交番の改築 ・ 山形警察署柏倉・古館駐在所(仮称)の新築 	16
警察行政情報ネットワーク等整備事業費	605,812 (470,230)	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 継続	<ul style="list-style-type: none"> ・ マイナンバーカードと運転免許証の一体化【新規】 ・ オンライン更新時講習の導入【新規】 ・ DXによる警察業務の効率化・高度化 	16
計	1,419,652 (864,904)			

② 交通事故防止のための取組みの強化

【令和6年度における課題と対応】

<交通事故防止対策の推進>

(課題)

- ・県内における事故総数は8年連続で減少したものの、死者数は34人（前年比+8人）と大幅に増加しており、重大交通事故の防止が喫緊の課題である。
- ・県内の高齢免許人口は、県内運転免許保有者全体の約3割を占め、今後も増加が見込まれる中、自主返納数は減少傾向にあることから、高齢運転者による交通事故を防止するための環境を整備する必要がある。
- ・JAF（一般社団法人日本自動車連盟）による「信号機のない横断歩道における車の一時停止率」調査では、当県の停止率が53.6%と未だ半数近くの運転者がルールを守らない現状にあり、引き続き県民に横断歩行者保護意識を浸透させる必要がある。
- ・自転車被害の交通事故における被害自転車のヘルメット着用率は24.5%（うち高校生の同着用率は5.7%）と低い状況にあり、さらに、自転車側の大半に何らかの交通違反が認められることから、自転車等利用者に基本的ルールを遵守させる必要がある。

(対応)

- ・交通事故分析及び交通実態把握に基づく交通事故防止対策
 - ⇒交通事故分析のより一層の高度化と分析結果を踏まえた総合的かつ先制的な交通安全対策
 - ⇒交通実態の変化等に即した交通規制の実施と交通安全施設の整備及び充実
 - ⇒デジタル技術を活用した交通事故防止に資する情報等の県民への積極的な提供による広報啓発活動
- ・交通事故防止に資する交通指導取締りと街頭活動の推進
 - ⇒PDCAサイクルに基づく実効性ある交通指導取締り
 - ⇒可搬式速度違反自動取締装置の活用など悪質性・危険性・迷惑性の高い交通違反に重点を置いた交通指導取締り
 - ⇒規範意識の醸成に資する自転車その他小型モビリティ利用者の交通違反の指導取締り
 - ⇒パトカーの機動力を生かした警ら活動、マイク広報等「見せる・聞かせる」街頭活動による警戒力の発揮
- ・関係機関・団体と協働した高齢運転者対策
 - ⇒高齢運転者の身体能力と運転技能を自覚させる参加・体験・実践型の運転教育
 - ⇒訪問による運転免許の自主返納など自主返納制度の拡充、運転技能検査など高齢運転者対策の円滑な実施
 - ⇒関係機関と連携した返納者支援事業の周知、支援事業の充実強化に向けた検討・調整
 - ⇒安全運転サポート車の普及啓発活動の推進
- ・社会に根付く歩行者・自転車等対策
 - ⇒「交通安全ありがとう運動」の継続による歩行者保護意識の更なる浸透
 - ⇒自転車その他小型モビリティの基本的な交通ルールの周知を図る交通安全教育の推進、自転車ヘルメット着用推進モデル校を中心とした先進的な活動
 - ⇒関係機関・団体と連携した歩行者に対する夜光反射材の普及・着用促進
 - ⇒横断歩行者妨害の指導取締り、歩行者に対する交通ルールの広報啓発
 - ⇒危険箇所の把握・改善による通学路等における交通安全の確保

【令和6年度関連事務事業】

(単位：千円)

事業名	予算額 (前年度)	区分	事業概要	関連する SDGsの ゴール
交通安全施設 整備事業費 交通安全施設 緊急対策費	1,124,189 (1,004,733)	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 継続	・交通信号機、道路標識及び道路標示 の整備 ・信号灯器LED化の推進【拡充】	11
交通警察行政 活動費(可搬 式速度違反自 動取締装置の 整備)	10,956 (-)	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 継続	・可搬式速度違反自動取締装置の増 強【拡充】	11
高齢者等交通 事故抑止対策 費	14,367 (14,412)	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 継続	・「交通安全ゆとり号」等による交通 安全教育 ・老人クラブ会員等への交通安全研 修	11
計	1,149,512 (1,019,145)			

2 未来に向けた発展基盤となる県土の整備・活用【5】

(2) 暮らしや産業の発展基盤となるICTなど未来技術の早期実装【5-1】



取組みの成果

③ 誰もが安全にICTを利活用できる環境づくり

【令和6年度における課題と対応】

＜県民のICTリテラシーの向上と安全・安心な利用環境の確保＞

(課題) (再掲)

- ・国民が広く利用する公共空間へと変貌したサイバー空間では、新たな技術を悪用する犯罪が続々と発生し、手口も匿名化、巧妙化するなど、サイバー空間の脅威は深刻化している。
- ・本県におけるサイバー犯罪の検挙件数及びサイバー犯罪等に関する相談件数は増加傾向にある。

(対応) (再掲)

- ・サイバー事案への的確な対応に向けた捜査・支援の推進
 - ⇒サイバー事案への的確な対応に向け、国際捜査も見据えた警察庁サイバー特別捜査部や他県警察等との連携捜査
 - ⇒サイバー犯罪対策課と山形県情報通信部の一体的運用の拠点である「山形県警察サイバーセンター」による捜査支援及び検挙
- ・サイバーパトロール等による違法・有害情報対策の推進
 - ⇒大学生等サイバーパトローラー等と協働したサイバーパトロール等による違法・有害情報の把握・削除、フィッシングサイト、詐欺サイト等の閲覧制限・削除等の対策の推進
- ・サイバー犯罪被害の潜在化の防止
 - ⇒県民や事業者に積極的な通報や相談を促すことによるサイバー犯罪被害の潜在化の防止、通報・相談受理時の迅速な捜査活動
 - ⇒県民や事業者への注意喚起など迅速的確な対応の徹底、官民連携の拡充等による被害拡大防止
- ・捜査用資機材の高度化と充実強化
 - ⇒押収した証拠品からの迅速なデータ抽出と正確な分析に資する捜査用資機材の高度化と充実強化
- ・更なる組織基盤の強化
 - ⇒公共空間へと変貌したサイバー空間の脅威に対処するための組織基盤の強化